PLUS
News Release

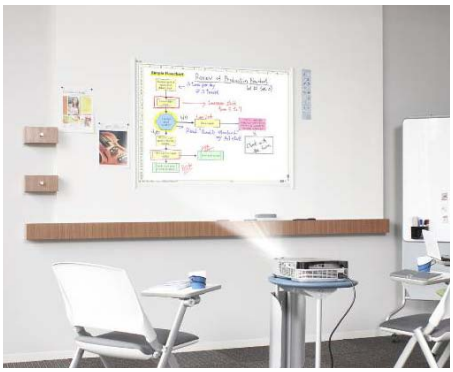
Date 2010 ・ 6 ・ 10

プラス株式会社　本社／東京都港区虎ノ門4-1-28　虎ノ門タワーズオフィス12階
代表取締役社長　今泉公二

～ 一方通行の会議・プレゼンが変わる！～

場所を選ばない「シート型」インタラクティブボード

「プラス ワイヤレス インタラクティブ パネル ユーピック エフ UPIC Fシリーズ」新発売



プラス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 今泉 公二）は、プロジェクタの投映画面に直接書き込みができ、また画面上でパソコンを操作することもできる「シート型」インタラクティブボード「プラス ワイヤレスインタラクティブ パネル ユーピック※」の新モデルとして、貼る場所を選ばない「UPIC Fシリーズ」を2010年7月下旬よりビジネス市場に向けて発売いたします。

「UPIC Fシリーズ」は、「シート」の軽量化（56インチ約0.6kg）により、付属の両面テープで、場所を選ばず簡単に設置可能です。従来品（裏面がマグネットシート）は、スチール壁など設置場所が限定されていましたが、「クロスやガラス壁などもっと様々な場所に設置したい」という多くのユーザーの声を反映し、本製品を開発いたしました。

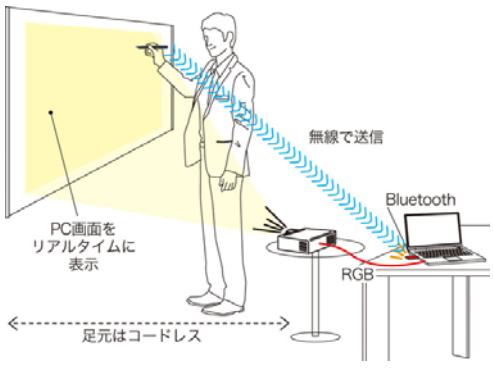
本製品は、Bluetooth®対応のアノト方式と呼ばれる先端技術を採用。精度が高いデジタルペンは、読み込みのタイムラグなく、通常のペンと変わらない滑らかな書き心地です。投映資料に話の要点や参加者の発言を書き込んだり、それを保存したりと、プロジェクタでの会議やプレゼンテーションの知的生産性を向上します。また、オフィスのペーパーレス化にも有効です。

さらに「ユーピック」が世界で初めて実現した「シート型」「ワイヤレス・ケーブルレス」のシンプルな設計により、従来のボード型製品と比較し、お求めやすい価格帯を実現しました。

これまで、ビジネス市場でのインタラクティブボードの導入障壁といわれた、設置の手間、操作性、高価格、これらの課題を解消した本製品で市場での普及を目指し、初年度販売目標は、ワールドワイドで3,000台を見込んでいます。

※ 「ユーピック（UPIC）」とは、“**U**niversal **P**ortable **I**nteractive **C**ommunication”の略で、“You pick(あなたが選ぶ)”の意味も込めています。

サイズ	価格
56インチ	88,200円(税抜84,000円)
64インチ	109,200円(税抜104,000円)
72インチ	130,200円(税抜124,000円)



《主な製品特長》

■シートを貼るだけ、場所を選ばずに簡単設置

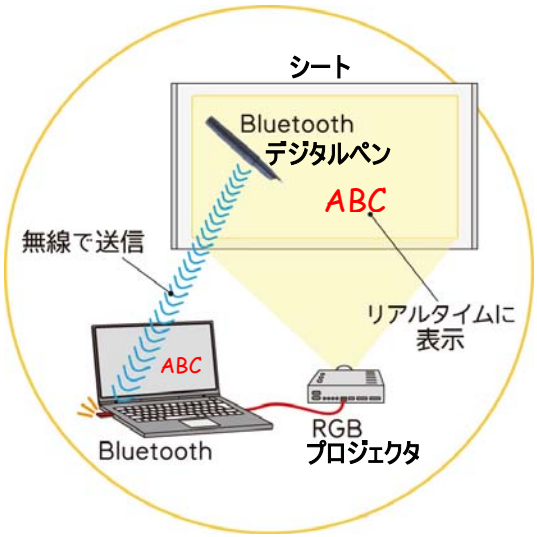
軽量化されたシートは、付属の両面テープを使い、手軽に貼るだけでどこでも設置可能。従来のボード型製品と比較し、シートの厚さはわずか約0.5mmで、平面さえあれば設置スペースを気にせず、容易に導入することができます。

■アノト・テクノロジー採用により、電源コードや接続ケーブルが不要に

本製品は、Anoto Group AB（CEO：アンダーシュ・ノーリング、本社：スウェーデン ルンド市）の技術を採用しています。Bluetooth®対応のアノト方式の専用デジタルペンはパソコンと無線接続し、デジタルペン先端部のカメラがシートに印刷されたドットパターンを読み込むことで位置情報を認識。Bluetooth®を通じてパソコンに無線送信された位置情報が、投映画面に反映されることにより、シート上での書き込みや画面操作を可能にしています。タイムラグがないため、操作はストレスフリー。またシートには電源コードやパソコンと接続するケーブルが一切必要なく、セッティングも簡単です。

＊デジタルペンの使用電池はアルカリ単4電池1本です。

＊初回操作時はデジタルペンとパソコンのBluetooth®デバイスのペアリング設定が必要です。それ以降はデジタルペンのキャップを抜くだけでパソコンと投映画面の位置合わせ(キャリブレーション)画面を表示します。



パネル本体

専用デジタルペン

■プロジェクション・スクリーンとしての高い性能

シートには、プロジェクタを投映する際に反射やちらつきが起きにくい素材を採用。長時間の会議でも目に優しく、プロジェクション・スクリーンとして高い性能も備えています。

■シンプルなデザインによる高機能と低価格の両立

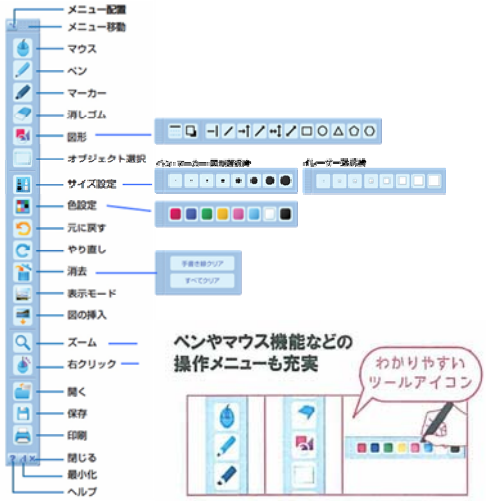
「シート型」のデザインは、従来のボード型製品に必要なフレーム、感圧式や電磁誘導などの位置センサー、スタンド等の必要がなく、削ぎ落とされたシンプルなデザイン。高機能を備えながら88,200～130,200円というお求めやすい価格帯を実現しています。

■会議、プレゼンテーションを活発な双方向型に進化

- 発表者が投映資料にポイントを書き示しながら説明したり、参加者から出てきた意見をその場で書き込んだり、一方通行になりがちなプロジェクタの会議を活発な双方向（インタラクティブ）型に進化させることができます。図式やグラフ、CADなどを投映しながら、議論を行う会議やプレゼンテーションに最適です。
- ワイヤレス・ケーブルレスなので電源確保の手間が省け、ケーブルを気にせずシートの周りを自由に動けることも発表者にとって大きなメリットです。

■マーカー・蛍光ペンは各8色、線の太さもタッチひとつで自由自在

- 付属ソフトウェア（Touch & Draw）は、シンプルで直感的に操作ができるユーザーフレンドリーな デザイン。蛍光ペン（8色）で、アンダーラインを引いたり、線の太さを変えたり、消しゴム機能で修正をしたり、また、図や画像を挿入することも可能です。書き込んだ内容は、画面ごと保存し、印刷できるので、情報共有も敏速に行えます。
- アノト方式のデジタルペンはペン型で持ちやすく、デジタルペンのキャップを抜くだけでBluetooth®が通信を始め、簡単に操作することができ、ユーザーの使い勝手に配慮されています。



■その他の特長

- 従来のボード型製品と比較し、コンパクトな梱包でお届け。輸送、梱包コストを大きく削減し、省資源・環境対応に配慮しています。

記

【 製　　品　　名 】　「プラス ワイヤレス インタラクティブパネル ユーピック F シリーズ」
(PLUS Wireless Interactive Panel UPIC F Series)

【 発　　売　　日 】　2010 年 7 月下旬

【メーカー希望小売価格】　[本体＋専用デジタルペン]
56 インチ:　88,200 円(税抜　84,000 円)
64 インチ:109,200 円(税抜 104,000 円)
72 インチ:130,200 円(税抜 124,000 円)

【 初 年 度 販 売 目 標 】　ワールドワイド 3,000 台

【 販　売　ル　ー　ト 】　全国の文具販売店・事務機器店　等

【 仕　　様 】

品番		UPIC-56F	UPIC-64F	UPIC-W72F
税込価格（本体価格）		¥88,200 (¥84,000)	¥109,200 (¥104,000)	¥130,200 (¥124,000)
質量		約 0.6kg	約 0.8kg	約 1.1kg
パネル	有効サイズ(mm)	1130W×845H	1300W×975H	1600W×1050H
	プロジェクタ投影サイズ	56 型(4:3) Max	64 型(4:3) Max	72 型(16:9)/ 70 型(4:3) Max
デジタルペン※1	電源	単 4 アルカリ電池 1 本(1.5V)		
	インターフェース	Bluetooth2.0 準拠　クラス 2※2		
	本体質量	約 40g(電池含む)		
付属ソフトウェア(Touch & Draw)機能		ペン色(8 色)/マーカー色(8 色)/消しゴム/ペン、マーカー、 消しゴムのサイズ(太さ)切替/図形の挿入/ページ内容の削除/ 画面モード切替/印刷/ファイルの入出力/拡大/右クリック		
付属品		デジタルペン、デジタルペン専用スタイラス(1 本)、 単 4 アルカリ電池(1 本)、両面テープ、取扱説明書(簡易版)、 デジタルペン取扱説明書、CD-ROM(UPIC ユーティリティ、 UPIC Touch＆Draw、取扱説明書(詳細版)[PDF])、 保証書(1 年保証)、FAX 登録用紙		
付属ソフトウェア 動作環境	対応 OS	XP(Home Edition/Professional Edition Service Pack 3 以上)、Vista (32bit/64bit)、Windows 7(32bit/64bit)		
	対応 PC 機種	上記 OS が動作するプリインストール機		
	CPU	Pentium4 以上のプロセッサ		
	メモリ	512MB 以上		
	ハードディスク	200MB 以上		
	ディスプレイ解像度	1024x768 ピクセル High Color 以上		

◆UPICの特設HP　http://www.plus-vision.com/jp/product/upic/index.html
◆商品使用事例の紹介HP　http://www.plus-vision.com/jp/product/upic/b_use.html

※1: デジタルペンによる描画にはパソコンおよびプロジェクタが必要です。
本製品はシートに印刷されたドットパターンをデジタルペンで読み込むことで位置情報を認識するスウェーデン・アノト社の技術を採用しています。

※2:Bluetoothが内蔵されていないパソコンにデジタルペンを接続するには、別途Bluetoothアダプタが必要です。

参考資料

○「UPIC　Fシリーズ」と「UPIC」の特徴

	「UPIC　Fシリーズ」	「UPIC」
設置タイプ	据え置きタイプ	移動タイプ
貼り付け方法	両面テープ	マグネットシート
質量	約0.6～1.1kg	約1.5～2.5kg
シートの厚み	約0.5mm	約0.4mm
ターゲット	ビジネス市場	教育市場中心
発売時期	2010年7月	2009年7月

○インタラクティブボードとは

インタラクティブボードは、電子黒板・電子情報ボードとも呼ばれ、パソコンと接続し画面を映し出すスクリーンとしてだけでなく、黒板のように書き込んだり、画面にタッチしてパソコンを操作できる機能を備えています。主に教育現場で活用され、特に米国・英国ではこうした機器を利用した授業が浸透しているため、大きなマーケットを形成しています。さらにロシアや中国などでも導入が進んでおり、世界的な市場規模は2008年に60万台、2010年に100万台（当社推定）と急拡大しています。

日本の市場は9割以上を教育市場向けが占めており、文部科学省の調査によると学校への導入台数は2002年度の約3,600台から2007年度は約12,000台と約3倍に伸びています。今後、公立小学校の5･6年生では平成21年度～23年度にかけて年間35時間の英語活動が段階的に開始されることもありインタラクティブボード需要が急速に伸びる見通し。またビジネス市場でも、プレゼンテーションツールとしての潜在ニーズがきわめて大きいとみられています。

≪お問い合わせ先≫
（報道関係）
プラス株式会社　秘書室　広報グループ　藤原
〒105-0001　港区虎ノ門4－1－28 虎ノ門タワーズオフィス12F　TEL：03-5860-7012　FAX：03-5860-7070
プラス株式会社　ステーショナリーカンパニー ビジョン事業本部営業部 営業企画課　井口（いのくち）
〒206-0811 東京都稲城市押立1033-1　Tel.042-370-8216　Fax.042-370-8226
（お客様）
プラス ビジョン製品お問い合わせセンター　Tel. 0120-944-086　Fax.0120-331-859
受付時間/月～金9：00～17：30（年末年始、土日祝日、および弊社指定の休日を除きます）